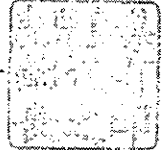


錦建第 392 号
平成20年10月10日

国土交通省道路局長殿

鹿児島県錦江町長 野元 良一



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号にてご依頼のあった件については、別紙のとおり提出します。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県錦江町

本町のように、起伏の激しい地形を形成する市町村にあっては国道は地域活性化を図る上から必要な位置にある。本町は大隅半島の南端部に位置している為、県都鹿児島市までは車、船舶を利用し約2時間を要するなど時間を要し、半島の中心市である生活圏の鹿屋市までは約30分を要する状況である。このため、道路整備の重要性は住民全体が認識しており、通勤、通学はもちろんのこと日常の住民生活における道路の果たす役割は計り知れないものとなっている。そのため、現在整備済みの箇所についてもカーブの多い箇所はカーブカットや改良整備で拡幅するなど、地域の実情にあった整備対策の処置をとってもらいたいと望んでいるところである。

また、災害時における基幹道路の閉鎖は地域の農林水産商工業で多大な影響を受けると共に、急患などが発生し、救急搬送での時間のロスは住民生活に密接に影響する為、災害防除・対策は安心安全な道路としての整備に欠かせないものとなっている。その他には東九州自動車道や大隅縦貫道の整備促進があるが、これらは数十年来の念願であり、これを整備することは地域の交通、物流の確保ができるなどメリットは計り知れないことから、地域活性化の最重要課題として検討していただきたい。

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②—1 地域の現状と抱える課題

鹿児島県錦江町

○現状

本町は、下場海岸地帯、中部台地地帯及び山間地帯の大きく3地区に分別される。これらの起伏の激しい地域の交通手段は国道、県道、町道を利用して車で行き来しなければならず、道路は住民の生活の一部となっているのが実態である。人口も海岸地帯に約52%が集中しているが、起伏の激しい地形で形成されているため台風襲来や大雨による災害も頻繁に発生している。中部台地地帯や山間地帯での道路整備は遅れており、工法においても改良するとなるとブロック積みや橋梁など多大な経費になり、財政的な課題もあるため今後の事業拡大が難しいという懸念がある。

○課題

国道448号に歩道のない地帯があり、交通量の多さや大型車の通行により地域住民が交通事故などに遭っているため、交差点改良を実施してもらい安心して通行できる環境の整備に努めてもらいたい。また、現在の国道269号では、植木などが狭い歩道上に植樹されている為、木や草が大きくなり歩道路面に影響を及ぼしたり、歩行者や自転車の通行に邪魔になったり、台風などで枝が通勤・通学者を襲い怪我をするなどの被害が出ている状況である。

地球温暖化の影響で緑地帯の創設など地球環境への取り組みが必要であることは理解していても、住民の生活に密接に関わってくる事態も無視できないと思われる。

災害が発生し、国道269号が遮断されると当地区は南隅（錦江町、南大隅町）の玄関口であり、地域住民への影響は計り知れない事態である為、その対策は最重要課題である。

過疎化が進み、少子高齢化が現実となった昨今、地域間格差が益々拡

今後の道路行政についての意見・提案

様式②

②—1 地域の現状と抱える課題

鹿児島県錦江町

	大してきているが、そこで生活している住民にとっては、隣接集落までの距離も相当あるため車は足であり欠かせない移動手段である。 これらの整備により地域の掘り起こしをしなければ過疎からの脱却は到底不可能である。今後も国道のみならず、道路全般の整備は最大の地域活性化である。
--	---

②—2 地域の目指すべき将来像

鹿児島県錦江町

本町を含む大隅半島一帯は、鹿児島の食料基地としての位置づけがなされているところである。中でも本町は化学肥料、農薬一辺倒の依存型から良質堆肥の生産による土壌改良を図り、消費者の信頼を得られるような農畜産物の生産地として安心安全な供給ができるような対策に今取り組んでいるところである。また、農産物等に付加価値を付けることによって消費者の心を掴む政策へ変換していかなければこれからの農業は生き残っていけないと思われる。

さらに、農産物等が生産、出荷されるにあたり搬出・搬送では道路を利用しなければならないことから、大消費地への所要時間の短縮を図り、安心・安全な道路整備は特に重要である。そのためには、既存の道路の整備（カーブの多い箇所のカーブカットや拡幅等）を推進しながら、東九州自動車道の高速道路の整備はもちろんのこと、大隅縦貫道の整備やこれらにアクセスする道路の整備を図ることが重要なことである。

これらの整備が進み、地域が一体となって農畜産物の大生産地として生き残る政策を進め、農業生産法人や農業後継者の経営を推進・育成することが、この半島の使命と位置づける必要があると思っている。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

鹿児島県錦江町

○重点事項 ・地域活力の向上	○代表事例 ・九州自動車道が整備され、自動車利用が高まったために、物や人の流通がスムーズになった。この他、九州新幹線が一部ではあっても開通したことで、同様の現象が起こっている。	○期待する効果や評価等 ・大隅半島では、まだ高速道の恩恵に程遠く、新幹線効果も出ていないのが実情である。このため、東九州自動車道や大隅縦貫道の早期完成が望まれている。これらの開通が当地域の産業・文化にもたらす意義は非常に大きいものがある。	○その他
・			

国道448号大根占工区道路改良事業の早期採択について（市町村合併支援事業）

国道269号交差点を起点とし、田代地区への幹線アクセス道路となっている最重要道路国道448号線が、合併等に伴い物流輸送・生活道路として車両交通もさらに増加しており、通勤・通学路でもあり、特に混雑しております。

しかしながら、現道は歩道もないため、児童・高齢者等の歩行にも困難をきたし、ここ数年の間に死亡事故を含む交通事故も頻繁に起きており危険な状態であります。

是非、市町村合併支援事業としての道路整備事業を新錦江町の公共施設等の拠点を連絡する最重要道路国道448号大根占工区について、短期で整備が図られるよう優先採択・重点的支援を強く要望いたします。

又、沿線関係地権者の強い要望もあり、関係地権者全員の同意書も別紙にて添付いたします。



国道448号大根占校区道路改良事業要望 位置



国道448号大根占校区道路改良事業要望ヶ所

